

## 木曾川用水濃尾第二施設改築事業に係る事前評価（農業用水）第2回委員会 議事概要

1 日 時：令和3年7月6日（火）13:30～14:45

2 場 所：ZoomによるWeb会議形式

3 対象地区：独立行政法人水資源機構事業 木曾川用水濃尾第二施設改築地区

4 委 員：飯尾 歩：株式会社中日新聞社 論説委員  
千家 正照：国立大学法人岐阜大学 名誉教授  
徳田 博美：国立大学法人名古屋大学大学院生命農学研究科 教授  
増田 理子：国立大学法人名古屋工業大学社会工学部 教授  
山本 千夏：NPO法人グラウンドワーク東海 副理事長

5 議 事：

木曾川用水濃尾第二施設改築事業に係る事前評価（農業用水）第2回委員会を開催し、令和4年度着工予定地区である独立行政法人水資源機構事業「木曾川用水濃尾第二施設改築地区」に係る事前評価資料について第1回委員会から修正した内容を説明した。

質疑応答の概要は、以下のとおり。

（委 員） 数値の修正理由について、口頭では説明頂いたが、会議冒頭に修正箇所一覧表などを示して頂き、全体の修正内容の説明があればよかったのではないか。

（委 員） 第1回委員会から数値が修正された部分について、修正理由や前回との数値の比較がないため、わかりにくい。

（機 構） 説明方法に至らない点があった。修正箇所一覧を示し、委員のみなさまの理解が深まるよう再説明する。

（委 員） 作物生産効果について。作物単価の修正は年次更新によるという認識でよいか。また、各計算結果の修正について詳細如何。

（機 構） 作物単価について、農水省からの指導を踏まえ、出回り期や流通の実態（収穫後、貯蔵され、年間を通じて販売される）を踏まえて修正した。

各計算結果について、小数点以下の四捨五入の関係で数値が一致していなかった箇所を修正した。

その他、建ぺい率の考慮により数値が変化した。

(委員) 総費用に計上されている一部施設について、面積で按分された分だけ減ったということであるが、減った費用は誰が負担するのか。

(機構) 濃尾第二全体の受益範囲ではあるが、本事業の受益範囲外の方が受け持つこととなる。

## 6 委員会の意見

本日の審議における質疑応答などを踏まえ、「木曾川用水濃尾第二施設改築」地区の評価は妥当であると判断される。なお、本委員会でも出された意見については、今後の事業の参考とされたい。